

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修（芸術選択）
使用教材	教科書	美術2（光村図書出版）							
	副教材	課題毎のプリント、筆記用具、アクリルガッシュセット（教材費で購入） など その他課題毎に指示							

学習目標

創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
疑問を持ち、探求する力を育む。

学習方法

美術Ⅰで学んだ基礎力を活かし、表現力をさらに高める。様々な表現の分野において、知識を深め、自分の中にある感覚を大切に、一人一人の表現方法を見いだしていく。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。	
①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間制作に打ち込んでいるか。 ・最後まで諦めずに作品の完成度を高めているか。 ・技術を身につける努力。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題テーマに対し、自己表現を探究しているか。 ・参考資料の活用を含む。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な技能や工夫
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し考察、探求する能力。 ・課題テーマに対しての資料集め、自己表現を探究する能力。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み方	◎	◎	○	○	
各課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

自分が持っている感性を信じ、向上心を持って制作する。
失敗を恐れなくて、諦めず制作すること。
ただ手を動かす作業としてではなく、考えながら表現活動をする制作活動として授業に取り組むこと。
作品のうまい下手ではなく、基礎的な学習を通して、しっかりと知識、技能を身に付け辛抱強くコツコツ「ていねい」に進めることが大切。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆オリエンテーション ◆視覚デザイン <ul style="list-style-type: none"> ・東高祭のポスターを考える ・デザインの基礎 ・色彩と形 ・制作 ・ふりかえり ◆絵巻物について <ul style="list-style-type: none"> ・アニメと絵巻物 ・絵巻物、鑑賞 ・物語を考える ・異時同図法、鳥瞰など表現方法 ・制作、展示、鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の特徴や仕組みに基づいた配色の大切さに気づき、自分の表現に活かす。 ・日本美術の作品を通して、現代につながる美術文化のあり方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業、目標、評価について ・デザインの基礎としてクライアントと作り手(自分自身)のことを意識した制作と見る人に訴えかけるデザインを考える。 ・日本の文化に触れながら、日本の物語の見せ方、捉え方を知り、巻物で表現する。 ・絵巻物などにみられる表現方法を知り、活用する。 ・世界の風刺の様々な表現方法を知る。 ・普段の生活などを物語として表現する。 ・色彩効果などについての基礎分野の復習をしながら進める。 <p>【評価方法】 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
2 学期 30単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆塑像づくり <ul style="list-style-type: none"> ・手の塑像 ・制作する手のポーズを決めてスケッチをする。 ・心材を組み粘土をつけていく。 ・制作、展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・手のデッサンを繰り返すことでデッサンの基礎力を養い、立体的な形の取り方、見方の理解力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手のスケッチを様々な角度から観察し骨格や筋肉の付き方などを観察する。 <p>【評価方法】 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
3 学期 18単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆立体デザイン <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・素材を活かす ・制作 ・互いの作品を試す ◆ふりかえり 春休み課題 *文化祭のポスターデザインを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの開発者になった気持で箱型の迷路を設計し木を材料に制作する。実際に使う人のことを意識し、制作する。素材の活かし方に創意工夫することの面白さを知る機会としてとらえ、チャレンジしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類以上のデザインを考える。 ・木材を用いて制作。糸鋸やカッターを用いて木材を加工する。 ・着彩する。 ・展示、鑑賞。 <p>・次年度 美術III受講者のみ</p> <p>【評価方法】 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>